

平成 24 年度 河川巡視結果

1 実施日時及び巡視場所

実施日時	時間帯	管轄署	巡視河川等
4月18日(水)	午前	青葉消防署	広瀬川(澱橋～霊屋下)
	午後	宮城野消防署	七北田川左・右岸河口付近、蒲生字町、西原地内(和田排水樋門)、白鳥一丁目地内
4月19日(木)	午前	若林消防署	貞山運河、井戸浦樋門、二郷堀排水機場等
	午後	太白消防署	名取川右岸(袋原二丁目地内、四郎丸地内)
4月20日(金)	午前	宮城消防署	広瀬川(芋沢字新田・大竹新田地内)
	午後	泉消防署	七北田川左岸(七北田大橋～泉大橋)、山田川、花輪川

2 巡視参加機関

国	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所名取川出張所
県	宮城県仙台土木事務所
市	経済局農林部農林土木課 都市整備局住環境部開発調整課 建設局百年の杜推進部河川課 建設局下水道事業部下水道調整課 建設局下水道事業部下水道管理センター 青葉区役所区民部区民生活課 宮城野区役所区民部区民生活課 若林区役所区民部区民生活課 太白区役所区民部区民生活課 泉区役所区民部区民生活課 宮城総合支所まちづくり推進課
消防局署・消防団	消防局、各消防署、各消防団

3 参加人員(人)

巡視場所	国・県・市関係	消防団員	消防職員
青葉消防署管内	6名	3名	14名
宮城野消防署管内	10名	10名	12名
若林消防署管内	13名	16名	9名
太白消防署管内	10名	3名	12名
泉消防署管内	7名	9名	8名
宮城消防署管内	5名	3名	12名
合計	51名	44名	67名

4 巡視結果

(1) 青葉消防署管内（4月18日午前実施）

赤門自動車学校教習コース場北側付近から巡視を開始し、南東側は川の流れが緩やかであり、西公園側の浸食は見られなかった。また、教習コース場北側の護岸工事は平成22・23年度に完了している。上流側は若干の浸食が見られたが、護岸工事を行うと川幅を縮めてしまい、流速が早まり下流域の浸食が進む恐れがあるため、工事は行わないとのことであった。

霊屋下地域では、評定河原橋を挟んで上下流域に中洲があるが、流速を弱めるため、撤去工事を検討しているとのことである。花壇自動車学校西側の護岸工事は今年度内の完了の予定である。

今回巡視した流域では、震災により被災した護岸工事を最優先に行っており、中洲等の撤去については未定であるため、今後も関係機関と情報提供など連絡を密にし、水害による災害を軽減するため、定期的に実態の把握に努めていくことが重要である。

(2) 宮城野消防署管内（4月18日午後実施）

東日本大震災の津波により、七北田川の河口付近の堤防等が破壊され、土嚢による応急処置が行われている。河口の土砂は重機で土砂を除去し開口されており、貞山堀と七北田川の接続部分は現在、仮設のフラップゲートが設置されている。

蒲生字東屋敷添（平山魚屋前）の排水ポンプは4台（1台毎分4t）が復旧設置されていた。和田排水樋門は開閉可能であり、海及び七北田川の水位が高い場合、閉鎖することで対応するとのことであった。

白鳥一丁目のポンプは5台（1台毎分4t）設置され、うち4台は発電機が付属しており、1台は商用電源で稼働しているが、今後、全てのポンプを商用電源にする予定である。また、水位計が設置され遠隔監視をしており、ポンプの排水能力が不足する場合は、仙台河川国道事務所所管している排水ポンプ車（毎分30t）を依頼することも可能とのことである。

昨年に比して、排水ポンプ等の復旧が大分進んでいるが、河口付近の堤防については、昨年9月の台風時にも再度決壊し、南蒲生、新浜地区が浸水しており、これまでの浸水エリア以外にも、注意を払う必要が生じている。現在は土嚢で応急処置が行われており、6月上旬までに、矢板等で補強を実施する予定である。

今後も堤防、排水ポンプ等の復旧状況を確認しながら、水防警報発令時の対応を迅速に行うとともに、関係機関が相互に連携を強め、警戒を強化していく必要がある。

(3) 若林消防署管内（4月19日午前実施）

今年度は、仙台市水防計画に基づき特に東日本大震災により被害を受けた4箇所を実施した。大堀排水場は、農業用水の排水場であったが津波により破損し、現在は水門を手動で開閉するようになっており、将来的には4機のポンプを設置し排水能力の向上を図る予定である。

二郷掘排水場については4機あったポンプはすべて津波により破損し使用できない状態であるが、現在仮設建屋と併せて仮復旧工事中であり、早ければ6月竣工7月から稼働予定である。

井土浦樋門は、貞山運河と井土浦川の水位調整のための樋門であり、貞山運河の樋門と井土浦川の水門の二重の水門となっていたが、津波により破損し現在は手動で開閉を行っており、改修工事は未定である。ただし、堤防関連の工事は平成24年度に完了予定である。

藤塚排水場は、平成19年度に国土交通省で整備完了し仙台市に引き渡したが、津波により破損し現在は仮設の建屋にポンプ1台設置し稼働中で、今後もう一台の設置を予定している。また、貞山運河周辺に設置していた水防倉庫（荒浜、二郷堀、藤塚）も津波により被災した。

今年度の河川巡視で、津波による被害状況及び今後の予定を確認し、これからの台風等の大雨対策に参考になったものと思慮される。

(4) 太白消防署管内（4月19日午後実施）

今年度の河川巡視は、東日本大震災により影響を受けた箇所として、名取川右岸袋原地区～名取市境を選定し実施した。

堤防上において、仙台河川国道事務所名取川出張所員から、被害状況及び復旧状況について説明があり、被害については、堤防のクラックや地盤沈下、堤防周辺への漂着がれきの堆積などが挙げられた。復旧作業については、周辺がれき撤去作業、堤防天端路の整備及び法面張芝作業が実施されており、名取市境から確認し、上流へ移動しながら今回の巡視箇所内において、工事が完了しているのを確認した。

今後においても関係機関と連絡を密にし、実態把握に努めていく必要がある。

(5) 泉消防署管内（4月20日午前実施）

七北田川左岸は、下流に向かい約100メートルの区間を巡視した。河川自体には異常は見られなかったが、右岸の表のり部分には昨年同様数箇所の亀裂が確認でき、防水シートで覆い対処している状態である。これについては、宮城県仙台土木事務所により年度内に復旧できるよう進めているとのことであった。

花輪川については、平成7年度より事業に着手し郊外地の特色を活かし水生の植物及び魚類等の生息に配慮した自然な川作りを実施している。平成19年から20年にかけて上流100メートルの護岸工事を行っており、平成21年10月8日の台風18号により、被害を受け未改修区間を含めた被災箇所の復旧及び護岸整備を引続き行なっており、平成24年度は花輪橋上流において右岸側の護岸工事（延長約100メートル）を実施する予定となっている。

また、山田川は過去に氾濫した経緯があり、昨年9月21日の台風15号では館下橋南西側の水路にわら屑等のごみが詰まり床下浸水し、消防職員隊が2度出場している。平成24年度は館下橋上流において局所的な河川整備を行う予定となっている。

今後も関係機関と連携を密にして管内の水防危険箇所の実態把握に努め被害の軽減を図っていく必要がある。

(6) 宮城消防署管内（4月20日午後実施）

広瀬川の芋沢字新田地内の箇所にあつては、平成6年ごろに護岸整備された以降異常は認められない。しかし、広瀬川増水時、西仙台病院東側に位置する聖川に逆流し、水位が上昇した場合、大堀橋（市管轄）付近から越水する可能性がある。以上について各関係機関と確認し、前年同様、継続監視が必要である。また、巡視箇所の対岸で東日本大震災による土砂崩れが発生したが、復旧工事を完了している。

芋沢字大竹新田地内の箇所にあつては、平成21年度から選定したものである。平成15年ごろに、いずみ興産（株）西側私有地付近が浸水した経緯がある。その後、大沢橋建築（平成15年6月竣工）に伴い、浸水していた私有地部分は土盛りされ現在に至り、以降浸水はないものの、いずみ興産（株）付近の私有地部分に浸水の可能性があり、今後も関係機関と連携を密にし、継続して監視をしていく必要がある。